

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 40 回 PLM 分科会 (P14SC) 議事録

1. 日 時 2016 年 2 月 15 日 (木) 13:30~15:00
2. 場 所 (一社) 原子力安全推進協会 第 1, 2 会議室
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 鈴木 (主査), 渡邊 (副主査), 中川 (幹事), 長谷川 (広木代理), 矢野, 下家, 石井, 伊藤, 上坂, 松藤, 一森, 三好, 新井, 大城戸 (14 名)
(欠席委員) 望月, 大木, 橘高, 遊佐, 中川, 北条 (6 名)
(常時参加者) 皆川, 本田, 天間, 伊藤
4. 配布資料
資料P14SC-40-1 第39回PLM分科会議事録案
P14SC-40-2-1 「原子力発電所の高経年化対策実施基準:2016 (追補1)」の決議投票の結果について
P14SC-40-2-2 PLM実施基準2016年版 (追補1) の標準委員会本報告案
P14SC-40-3 PLM実施基準2008年版のJSME誤記問題対応案
P14SC-40-4 PLM実施基準の講習会準備 (案)
P14SC-40-5 PLM実施基準の改定のスケジュール

5. 議事

会議に先立ち, 出席委員は 14 名で, 定足数を満足している旨確認した。

(1) 前回議事録確認 (P14SC-40-1)

第 40 回 PLM 分科会議事録 (案) が紹介され, 一部誤記を修正した上で発行することが承認された。

(2) 人事

中川幹事が分科会代表者としてシステム安全専門部会委員となることを, 次回システム安全専門部会で提案することとなった。

(3) PLM実施基準2016年版 (追補1) の標準委員会本報告案 (P14SC-40-2-1,2)

システム安全専門部会の書面投票で特に意見がなく可決されたことが報告された。また, 標準委員会本報告会案が報告され, 本案でシステム安全専門部会に臨むこととなった。

(4) PLM実施基準2008年版のJSME誤記問題対応案 (P14SC-40-3)

本体の規定部分の誤記確認結果が報告された。また, まとめ表の誤記確認状況が報告された。

正誤表要否の判断については現状の案で問題ないことが確認された。

編集上の修正と誤記の判断基準を最初に説明した上で, 結果を報告すべきだという

意見が出た。

(5) PLM実施基準の講習会準備（案）（P14SC-40-4）

PLM基準2015年版が3月18日に発行予定であるので、5～6月に講習会を実施予定であることが報告された。

また、講習会資料の例が示され、下記のようなコメントがあった。

- ・附属書Fの説明の表は言葉足らずになっているので、うまく説明できるように検討が必要。
- ・全体構成や説明の仕方に検討が必要。
- ・過去に学会等で説明した資料を配布した方が、作業がはかどる。
- ・規制基準とのつながりに関する説明内容については、事前にNRAが確認する。
- ・JEAC4209と安全性向上評価とのつながりを保守管理検討会で検討しているため、安全性向上評価も含めた関係を整理しておいた方がよい。
- ・冷温停止での評価についての説明は附属書Aの中で実施する。
- ・作業のマイルストーンが必要。

今後の予定はメール等で調整することとなった。過去に学会で説明した資料を各委員に配布することとなった。

7. 今後のスケジュール等

2016年度は講習会、追補2の審議があることを確認した。次回分科会は5月24日原子力安全推進協会第3，4会議室で開催予定となった。

以 上